

境内が赤や黄に色づき始めた正暦寺＝奈良市菩提山町



秋も深まり、今年も山が錦に染まり始めた。紅葉が記録的な遅さだった去年と比べると、今年はやや早くなりそうな気配。県内各地の紅葉スポットでは様々なイベントも催される。

# 紅葉、今年は足早に

(各神社や観光協会などによる)

奈良公園	奈良市	11月中旬～12月上旬
正暦寺	奈良市	11月中旬～12月上旬
竜田公園	斑鳩町	11月下旬～12月上旬
朝護孫子寺	平群町	11月中旬～下旬
高取城跡	高取町	11月中旬～下旬
長谷寺	桜井市	11月中旬～12月上旬
談山神社	桜井市	11月中旬～12月上旬
室生寺	宇陀市	11月中旬～12月上旬
吉野山	吉野町	11月初旬～12月初旬
みたらい溪谷	天川村	11月中旬まで

■県内の主な紅葉スポットの見ごろ予想



正暦寺 150円 大人  
室生寺 150円 大人  
吉野山 150円 大人  
みたらい溪谷 150円 大人

## 名所近くの駅で 記念入場券販売

紅葉シーズンを迎え、名所の長谷寺や室生寺の玄関口となる桜井市の近鉄長谷寺駅、宇陀市の近鉄榛原、室生口大野両駅で、記念入場券が発売されている。

各駅とも、150円の入場券に駅近くの紅葉の名所を写した台紙付き。台紙は各駅とも3種類ずつあり、室生口大野駅の場合、①鎧坂の紅葉②秋の室生寺の仁王門③紅葉の室生山——から1枚を選ぶことができる。

松本和之・榛原駅長は「日付入りなので紅葉狩りの記念のほか、お土産にもなります」とPRしている。発売は12月16日まで。

奈良公園(奈良市)では、昨年は紅葉のピークがないまま落葉を迎えた状況だったが、公園管理事務所は「9日ごろから一気にきれいになった。今年は発色もよく、染

きほこれから。12月1、2日の「紅葉祭り」では、フリーマーケットやお茶席を設ける予定。

(渡義人)

「このところ寒暖の差が激しく、一気に色づいてきた」と担当者。22日、12月1日の日没から午後8時まで実施予定のライトアップは、少し早めることも検討しているという。

吉野山(吉野町)では25日までの午後5時、下千本周辺と中千本公園でライトアップを実施中。吉野山観光協会の担当者は「平年とほぼ同じ印象。20日前後がピークになりそう」。

談山神社(桜井市)では、昨年より1週間程度早く色づきが始まっているという。「15日現在で色づきは3割程度。担当者は「15日にかけて寒気が入るので、紅葉はどんどん進みそう」と話す。

室生寺(宇陀市)でも、1週間程度紅葉が早まっている。今月1日から「もみじ祭り」を開催しており、虚無僧が不定期で尺八を吹くほか、17、25日には茶席を設ける。みたらい溪谷(天川村)の紅葉は今がピーク。村の担当者は「いつもは黄が終わった後に赤が染しめる状況だが、今年は両方同時に楽しめる。まさに当たり年」と話す。

奈良地方気象台では、敷地内にあるイロハカエデの標本木の葉が全体的に赤く色づいた日を「紅葉日」と定めている。平年は11月18日だが、近年は遅くなる傾向にあり、昨年は最も遅い12月2日だった。13日現在で色づきは3割程度。担当者は「15日にかけて寒気が入るので、紅葉はどんどん進みそう」と話す。

しんでもらえそう」。